

平成30年度 部局長マネジメント方針

土木部長 たかと 高戸 あきら 章



仕事に対する基本姿勢

土木部は、道路、河川の整備及び管理、街路整備事業並びに交通安全運動の推進や自転車対策等、市民生活に密着した事業を担っております。安全・安心な生活を確保するため、また、多種多様な市民ニーズに応えていくために、それぞれの分野で積極的な姿勢で業務に取り組んでいきたいと考えております。

また、高度経済成長期に整備された施設の老朽化が進行する中、造ったものを長持ちさせて大事に使う「ストック型社会」への転換が求められております。従来の対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、必要予算の平準化及び維持管理のコスト縮減に向けて更なる努力をしてまいります。

平成29年度の振り返り

橋梁修繕補強事業については、平成24年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、古箕輪橋の修繕工事を完了し、本町橋、宮後橋の耐震補強工事を実施しました。その結果、平成29年度末時点において計画橋梁70橋のうち、30橋の修繕補強工事が完了しました。

ラグビーワールドカップ2019に向けた取り組みについては、東花園駅より花園中央公園に至るアクセス道路である東花園駅前広場や東花園駅前線の整備工事が完了しました。また、大阪瓢箪山線は八尾枚方線から花園駅前線の間が完成いたしました。

近年、国の交付金の配当が低い状況ですが、年度途中で交付金を追加で獲得するなど、積極的な財源の確保に努めました。

次に、交通安全に関する取組みとして、平成25年度からスタートしたスタントマンによる交通安全教室を孔舎衝中、長瀬中、盾津中の3校で実施し、在校生並びに近隣の市民の皆様にも多数参加していただきました。また、幼児から各種学校への交通安全教室を172回、高齢者及び一般向けの講習会等について219回開催しました。今後も特に子供、高齢者、自転車の事故防止に向けて啓発活動に努めてまいります。

また、浸水被害の軽減を目的とした貯留浸透事業につきましては、平成29年度に岩田西小学校の校庭貯留工事を完了しました。

1 道路ストック点検事業

経年による老朽化が進行している道路ストック（橋梁などの道路構造物）について、計画的かつ予防保全的な修繕を行うために、定期的な点検調査を実施してまいります。予防保全的な修繕補強により道路ストックの長寿命化を図り、安心安全なまちづくりを推進します。

2 交通安全運動の推進

子どもの飛び出し事故の防止について、各警察署と協力して小中学校・高校・幼稚園・認定子ども園等での交通安全教室を実施するとともに、ドライバー等への注意喚起のための啓発看板を危険箇所に設置してまいります。

また、高齢者の交通安全対策についても、各警察署や老人クラブ連合会との連携のもと、交通安全教室の実施等、啓発活動を進めてまいります。

3 自転車マナーの向上

自転車を運転する際のマナー啓発に関しては、自治協議会・交通安全自動車協会・警察等と連携して駅頭で毎月実施している自転車マナーアップキャンペーンに加え、スケアード・ストレート（※）方式による自転車交通安全教室を本年も実施し、重大事故の減少、自転車利用者の交通ルールの遵守とマナーの向上を図ってまいります。

※スケアード・ストレート：スタントマンによる交通事故疑似体験

4 法定外公共物の適正管理

法定外公共物（里道敷・水路敷）の不法占拠路線について、詳細調査を実施してまいります。調査結果を基に、不法占拠物件の撤去指導や公用廃止等を行い、適切な管理に努めます。

5 橋梁修繕補強事業

主要路線に架かる重要な橋梁について、従来の「悪くなってから補修を行う事後保全型」から、「損傷の小さいうちに計画的に補修を行う予防保全型」に切り替え、維持管理費用の削減を図ることを目的に平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。その計画に基づき、橋梁の修繕・耐震補強を実施し、道路利用者の安全で快適な通行空間の確保に努めます。

6 街路整備事業

都市計画道路及び駅前広場については、現在都市計画道路が6路線、駅前交通広場は3か所の事業を実施しております。そのうち俊徳道駅及び衣摺加美北駅の交通広場については、平成30年度の工事完成を目指して事業を進め、その他の路線につきましては早期完成を目指し、用地買収を進めてまいります。

また近鉄奈良線連続立体事業に伴う関連側道について事業を推進し、都市計画道路大阪瓢箪山線については事業主体である大阪府に対し、大阪中央環状線との交差点を含め、大阪中央環状線から東花園駅付近までは、ラグビーワールドカップ2019までに遅れることなく供用出来るよう更なる働きかけを行ってまいります。

7 都市基盤河川改修事業（大川）

一級河川大川は、本市が事業主体となり、平成2年度に事業着手して整備を進めています。改修計画延長1,740mのうち、平成29年度末で起点の恩智川から旧国道170号橋梁上流端まで995mの護岸改修が完成しています。

今後も旧国道170号上流端より終点の砂溜地までの整備を順次進め、治水安全度の向上に努めてまいります。